

2025年度（2026年3月期） 第2四半期決算説明資料（IFRS）

IHI

2025年11月6日

株式会社 IHI



執行役員 グループ財務担当
大嶋裕美

ハイライト.....	3
1. 2025年度第2四半期 連結決算	
実績概要.....	5
報告セグメント別内訳.....	6
営業利益増減要因（全社）	7
報告セグメント決算実績.....	8
【参考】民間エンジン事業の売上収益、スเปアパーツ取扱高成長率の推移.....	12
連結財政状態計算書.....	14
キャッシュ・フローの状況.....	15
2. 2025年度 連結業績見通し	
業績見通し.....	17
営業利益増減要因（全社）	18
報告セグメント別内訳.....	19
3. Appendix.....	20

（注1）各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

（注2）以下のページではセグメント略称を使用しています。

エネ：資源・エネルギー・環境

社基：社会基盤

産汎：産業システム・汎用機械

空：航空・宇宙・防衛

2025年度第2四半期 実績

業績概況

- ・ 受注高：原子力等旺盛な需要を背景にエネで大きく伸長、**第2四半期では過去最高の受注高**
- ・ 売上・利益：売上・営業利益は前年同期大型案件等の反動などにより減収・減益となるも、為替や税金費用の良化等により、**第2四半期では過去最高の当期利益**

受注高

8,934億円

YoY +1,332億円

売上収益

7,136億円

YoY ▲438億円

営業利益

694億円 (9.7%)

YoY ▲78億円 (▲0.5pt)

EBITDA

1,062億円 (14.9%)

YoY ▲60億円 (+0.1pt)

当期利益

(親会社所有者帰属) **559億円**

YoY +166億円

営業CF

▲571億円

YoY ▲496億円

2025年度見通し

業績概況

- ・ **受注高**は、原子力や防衛事業等の拡大により、**600億円上方修正**、**営業利益**は、民間エンジン事業の堅調な伸びを反映して**100億円上方修正**、**当期利益**は**50億円上方修正**
- ・ '25年度は、**受注高・売上収益・営業利益・当期利益**のいずれも、**過去最高**を達成する見通し

受注高

1兆8,500億円

+600億円 / +988億円^(※)

売上収益

1兆6,400億円

▲100億円 / +131億円

営業利益

1,600億円 (9.8%)

+100億円 / +164億円

EBITDA

2,300億円 (14.0%)

+100億円 / +143億円

当期利益

(親会社所有者帰属) **1,250億円**

+50億円 / +122億円

営業CF

1,000億円

±0億円 / ▲776億円

(※) 各項目の金額の下に 上方・下方修正 / YoY の金額 を表示しています。

2025年度第2四半期 連結決算



2025年度第2四半期 連結決算 実績概要

原子力等エネルギー分野での旺盛な需要を背景に、過去最高の受注高
前年同期大型案件の反動等で、売上収益・営業利益は減収減益となるも、
為替や税金費用の良化等により、過去最高の当期利益を達成

(単位：億円)		'24年度2Q	'25年度2Q	増減
受注高		7,602	8,934	(+17.5%) +1,332
売上収益		(※) 7,574	(※) 7,136	(▲5.8%) ▲438
営業利益 (率)		(10.2%) 772	(9.7%) 694	(▲0.5pt) ▲78
金融損益等	為替差損益	▲169	▲14	+155
	持分法による投資損益	44	88	+44
	その他の金融損益	▲20	▲21	▲1
	合計	▲146	52	+198
税引前中間利益 (率)		(8.3%) 626	(10.5%) 747	(+2.2pt) +120
親会社所有者帰属中間利益 (率)		(5.2%) 393	(7.8%) 559	(+2.6pt) +166
EBITDA (率)		(14.8%) 1,123	(14.9%) 1,062	(+0.1pt) ▲60
営業キャッシュ・フロー		▲74	▲571	▲496
売上平均レート (USD)		153.38	146.57	▲6.81
期末日レート (USD)		142.62	148.81	+6.19

(※) '24年度2Qの売上収益には+83億円、'25年度2Qの売上収益には+8億円のPW1100G-JMエンジン追加検査プログラムに関する為替評価替えによる影響を含む
なお、PW1100G-JMエンジン追加検査プログラムについて、影響の見積総額 (USD) に変動なし。追加整備作業が進捗中であり、地上駐機に対する補償支払も想定に変更なし

2025年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳

IHI

カーボンソリューション事業* 国内大型案件や原子力等への強い需要により、エネの受注拡大が継続
空は、為替や前年同期の反動影響等で減益となるが、アフターマーケット事業の拡大基調が続く

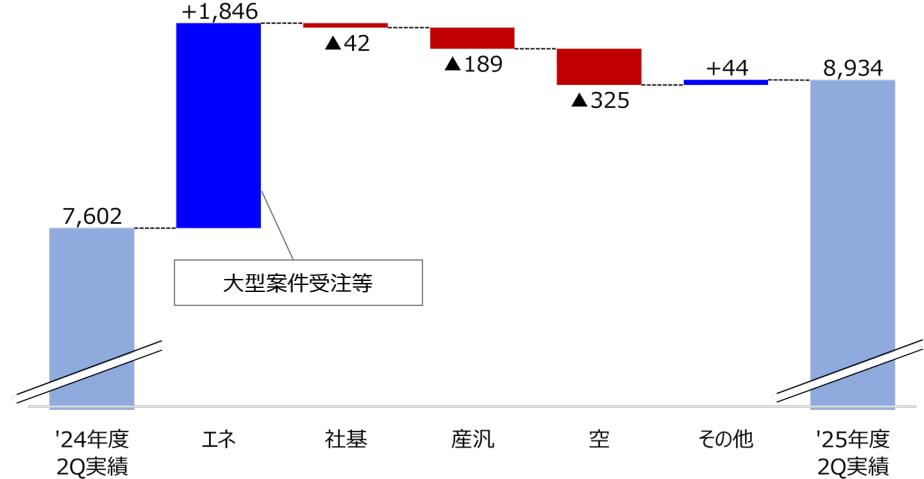
*「カーボンソリューション」は以降「CS」と表記

セグメント実績

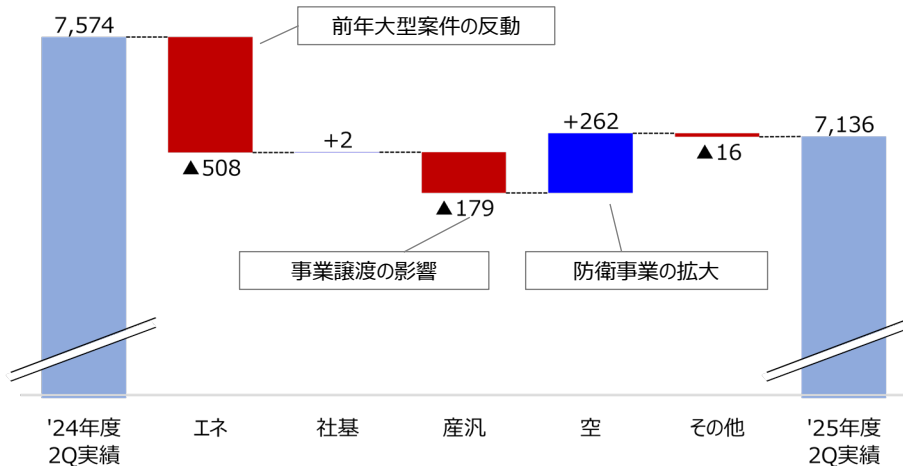
(単位：億円)	受注		売上収益		営業利益	
	'25年度2Q	前年比	'25年度2Q	前年比	'25年度2Q	前年比
エネ	3,261	+1,846	1,591	▲508	▲1	▲79
社基（※）	591	▲42	592	+2	▲33	+15
産汎	2,234	▲189	2,094	▲179	170	+180
空	2,703	▲325	2,739	+262	547	▲219
その他（※）	143	+44	118	▲16	11	+24
合計	8,934	1,332	7,136	▲438	694	▲78

（※）都市開発の報告セグメントを「社会基盤」から「その他」へ変更したことにより、実績を組み替えて表示

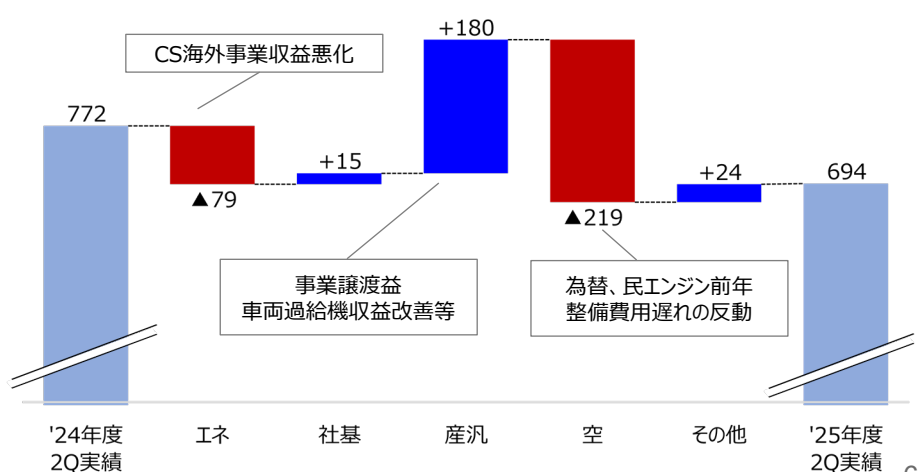
受注高 (単位：億円)



売上収益 (単位：億円)



営業利益 (単位：億円)

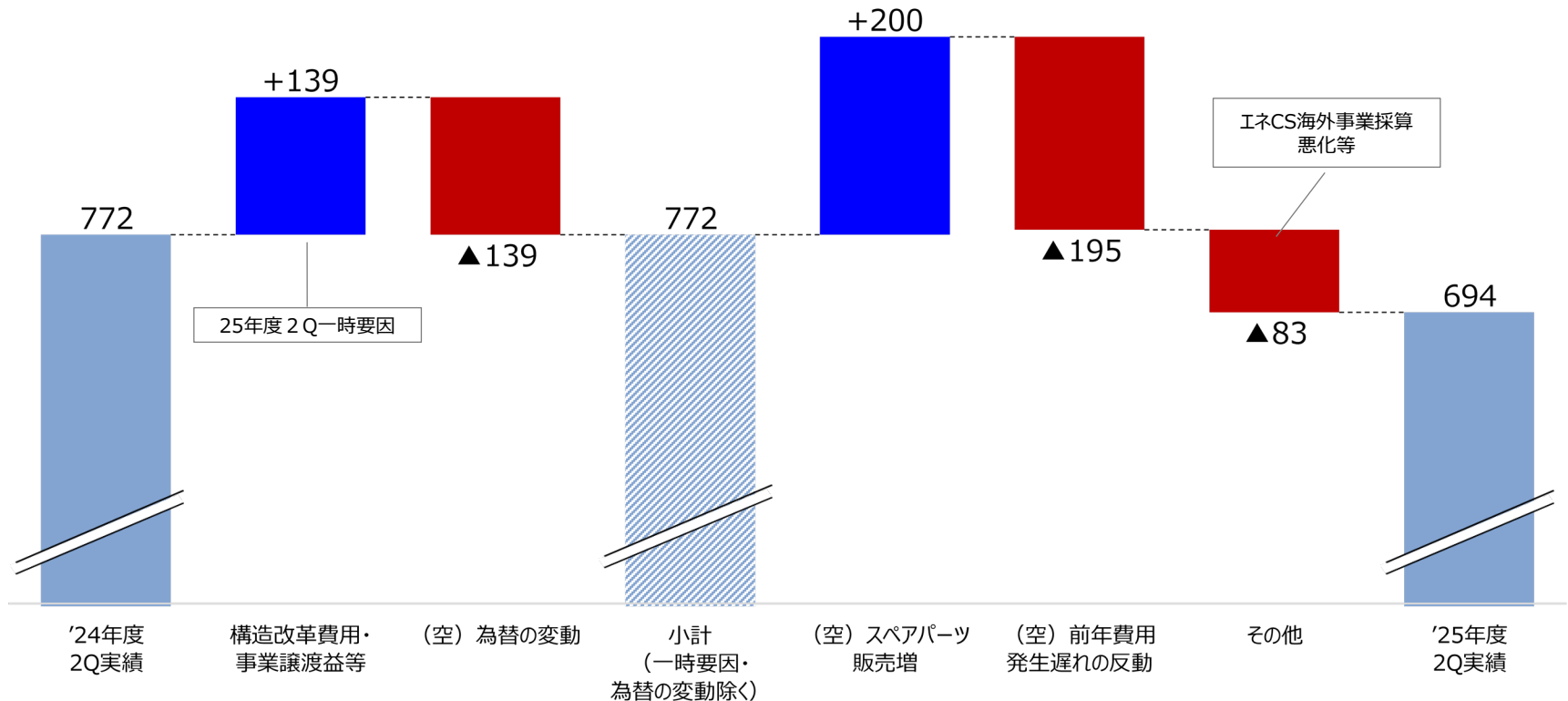


2025年度第2四半期 連結決算

営業利益増減要因（全社）

一時的要因・為替を除くベースでは、空が民間エンジン事業を中心に堅調に成長している一方、エネのCS海外事業採算悪化が、全社営業利益を大きく押し下げ

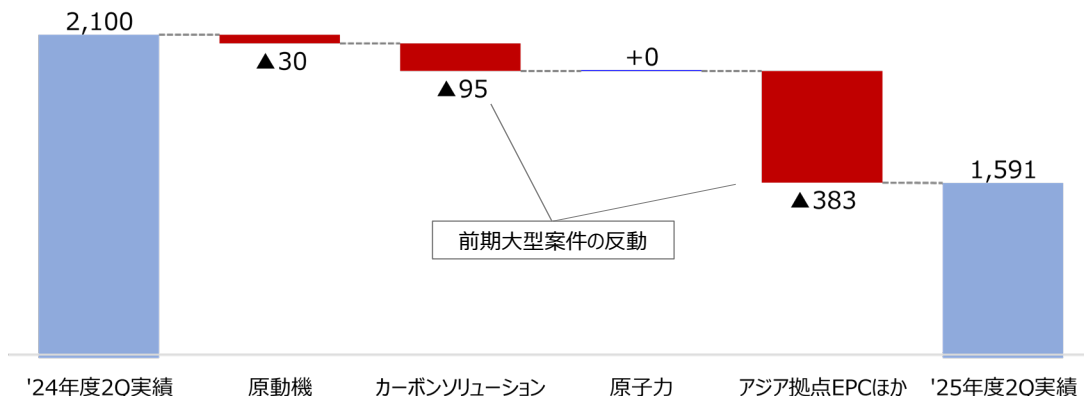
（単位：億円）



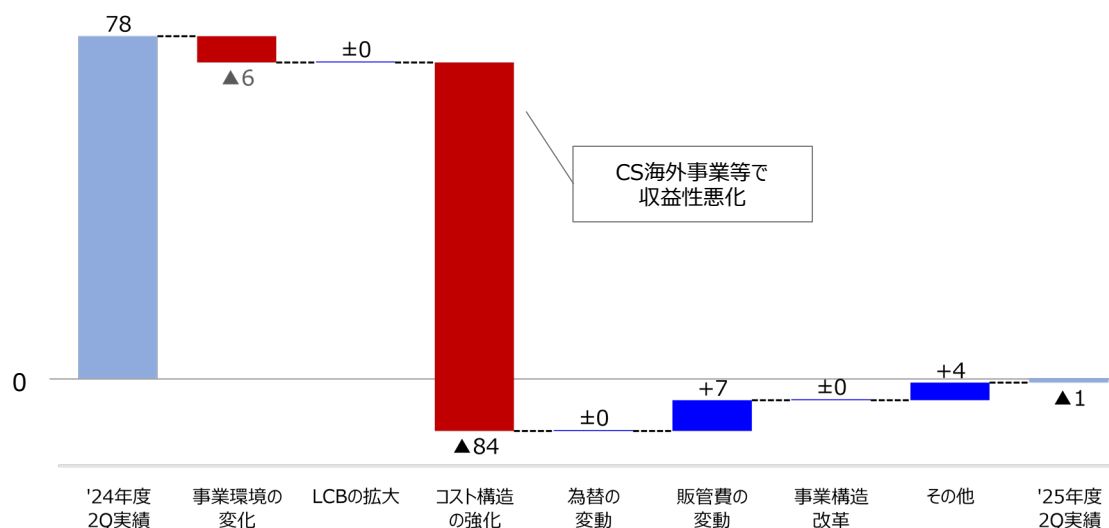
前年同期の大型案件の反動や、CS海外子会社の業績悪化等により減収減益

原子力、原動機は堅調に推移、残課題であるCS海外事業構造改革を加速、収益改善を図る

売上収益 (単位: 億円)



営業利益 (単位: 億円)



【売上収益】

- 主に、CS、アジア拠点EPCにおいて、前年同期大型案件の反動により減収

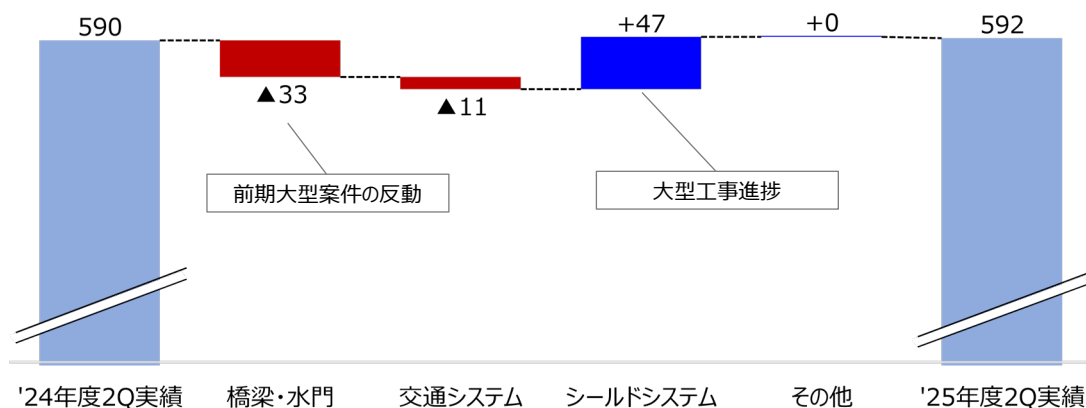
【営業利益】

- 事業環境の変化 :
 - ✓ 前年大型案件の反動
 - ✓ 原子力事業で1Qに先行計上した原価に対応する利益は、概ね計上済
- コスト構造の強化 :
 - ✓ 海外子会社を中心に、CSの収益性が大幅に悪化
- 事業の状況等
 - CS :
 - ✓ 海外子会社の構造改革加速中 早期の収益改善を目指す
 - ✓ 各社の固定費の圧縮や、プロジェクトのコスト管理を強化
 - 原子力・原動機 :
 - ✓ 旺盛な需要を背景に、事業拡大・収益性向上が堅調に推移

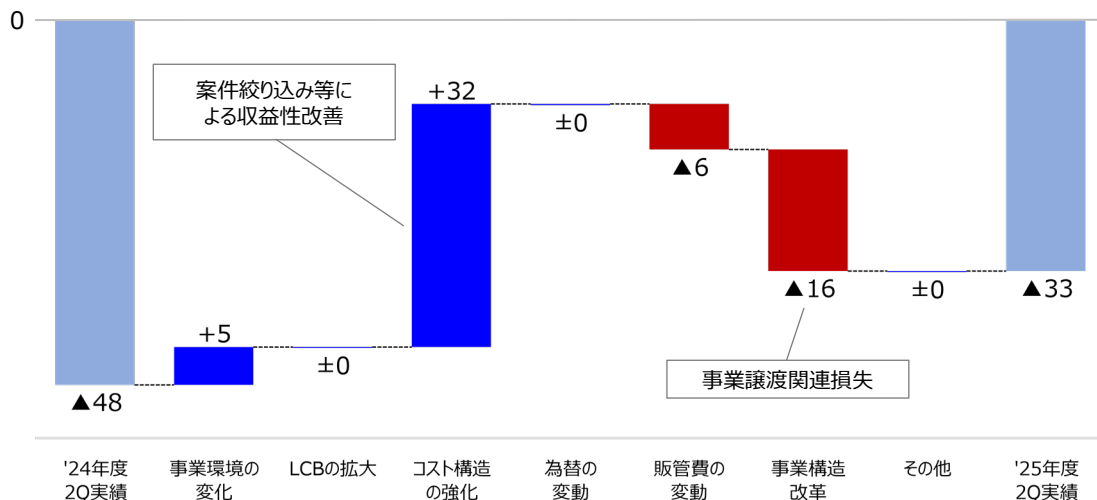
2025年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別決算実績 <社会基盤>

橋梁・水門事業を中心に、安定的に業績が推移、収益性向上が進む
営業利益は、橋梁・水門の収益改善が事業譲渡関連損失をカバーし、全体では増益

売上収益 (単位: 億円)



営業利益 (単位: 億円)



【売上収益】

- 橋梁・水門は前年同期大型案件の反動、シールドシステムは大型工事の進捗により、セグメント全体ではほぼ前年並み

【営業利益】

- コスト構造の強化:
 - ✓ 橋梁・水門を中心に、収益性が向上
- 事業構造改革:
 - ✓ 事業譲渡予定の交通システム事業に関する固定資産減損を計上

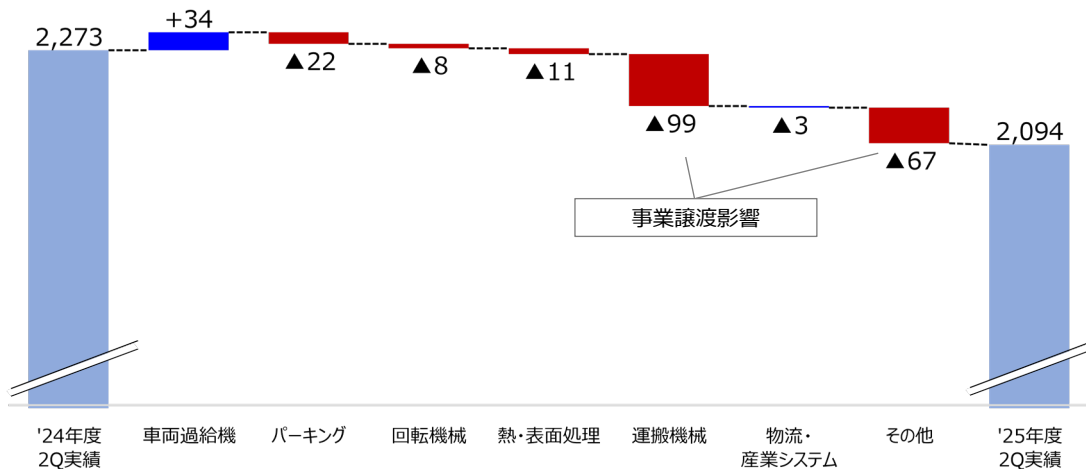
【事業の状況等】

- 橋梁・水門:
 - ✓ 11月1日、株式会社IHIインフラシステムと株式会社インフラ建設が統合
 - ✓ 両社のシナジーを創出しながら更なる競争力強化を目指す
- コンクリート建材:
 - ✓ 株式会社IHI建材工業の全株式について、10月1日に譲渡を完了
- 交通システム:
 - ✓ 新潟トランス株式会社全株式について、12月30日譲渡完了予定

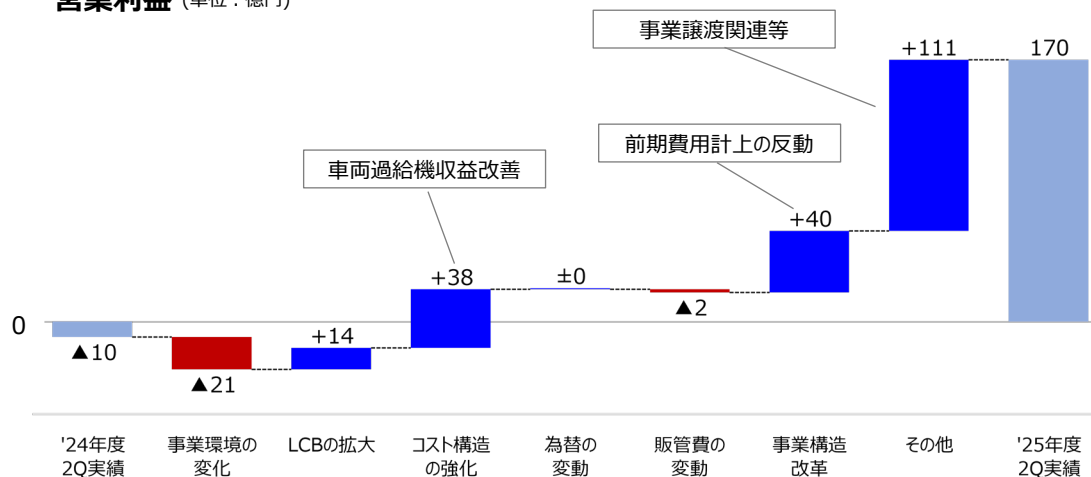
2025年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別決算実績 <産業システム・汎用機械>

主に事業譲渡の影響により、全体では減収増益
車両過給機事業の販価改善や固定費改善の取り組みが奏功し、増益に貢献

売上収益 (単位: 億円)



営業利益 (単位: 億円)



【売上収益】

- 主な減収要因は、事業譲渡に伴う連結除外の影響
- 譲渡完了:
 - ✓ 汎用ボイラ事業(4月1日)
 - ✓ 芝草・芝生管理機器事業(6月1日)
 - ✓ 運搬機械(7月1日)

【営業利益】

- コスト構造の強化:
 - ✓ 車両過給機事業の販価改善や固定費削減等による収益性改善
- その他:
 - ✓ 主に事業譲渡関連損益(譲渡益、連結除外の影響)

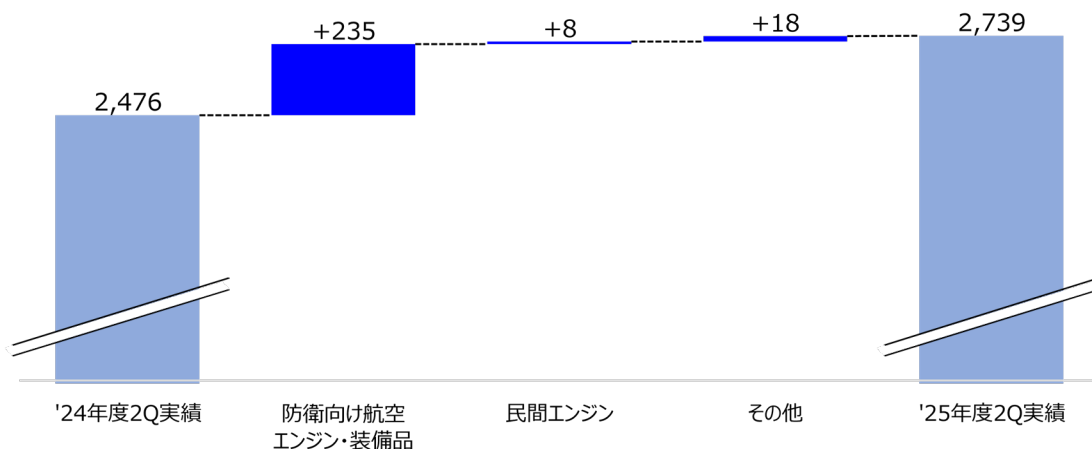
【事業の状況等】

- 車両過給機事業:
 - ✓ 車両過給機事業の米国関税影響はお客さま負担をベースとする交渉が進捗、年間影響額は軽微な見通し

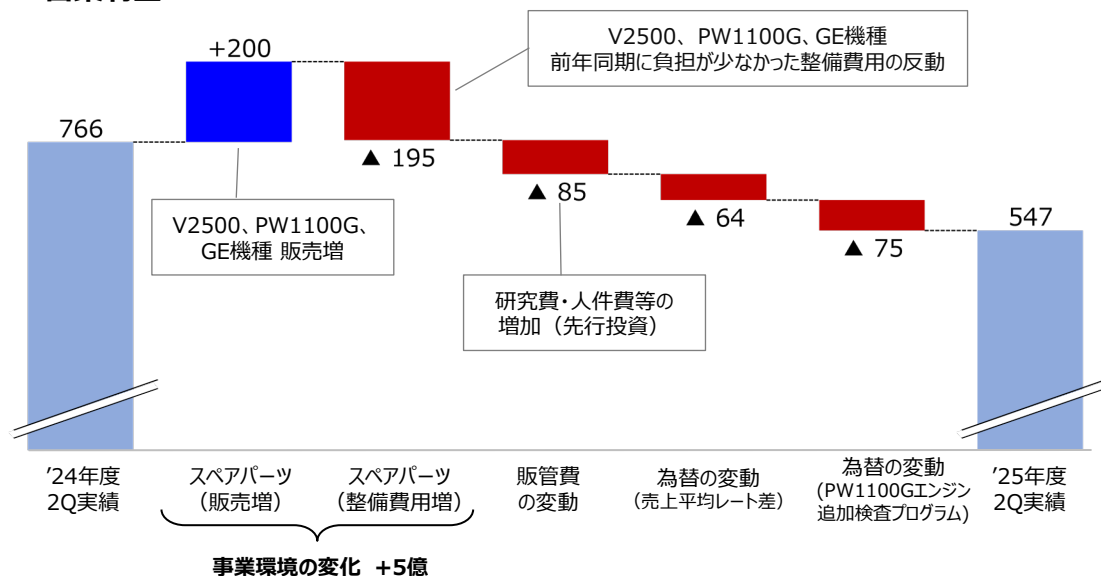
2025年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別決算実績 <航空・宇宙・防衛>

防衛事業は堅調に拡大し増収、営業利益は、民間エンジン事業整備費用の反動増や為替などにより減益となるも、引き続き堅調に事業が成長

売上収益 (単位: 億円)



営業利益 (単位: 億円)



【売上収益】

- 防衛向け航空エンジン・装備品：
 - ✓ 補用部品を中心に、大幅に増収

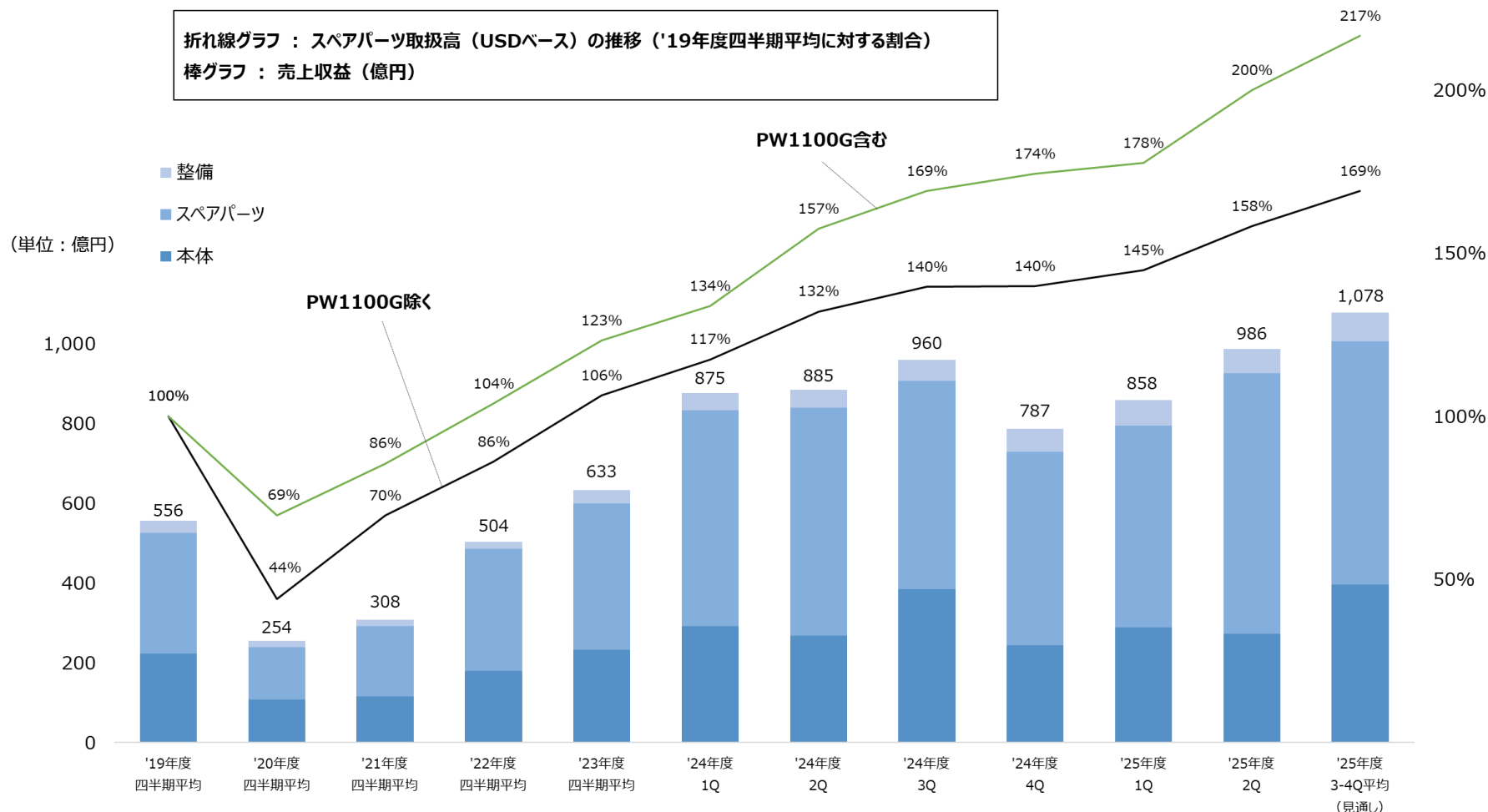
【営業利益】

- 全体観：
 - ✓ 民間エンジン事業において、前年度整備費用の反動や、為替が主な利益押し下げ要因
 - ✓ 事業は堅調に拡大トレンドにある
- 事業環境の変化：
 - ✓ スペアパーツ売上が引き続き力強く成長していることを確認 (P13参照)
- 販管費の変動：
 - ✓ 主に研究費・人件費等先行投資
- 【事業の状況等】
- 関税影響：
 - ✓ 9月署名の米大統領令に基づき、日本の航空機・航空機部品に関税は課されない見込み
- サプライチェーンマネジメント：
 - ✓ 逼迫するサプライチェーンの問題にパートナー会社と連携して対応していく

【参考】民間エンジン事業の売上収益、スเปアパーツ取扱高成長率の推移

	本体比率	スぺアパーツ比率
'24年度実績	34%	60%
'25年度2Q実績	30%	63%
'25年度見通し	34%	59%

折れ線グラフ：スぺアパーツ取扱高（USDベース）の推移（'19年度四半期平均に対する割合）
棒グラフ：売上収益（億円）



(注) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム影響を除く

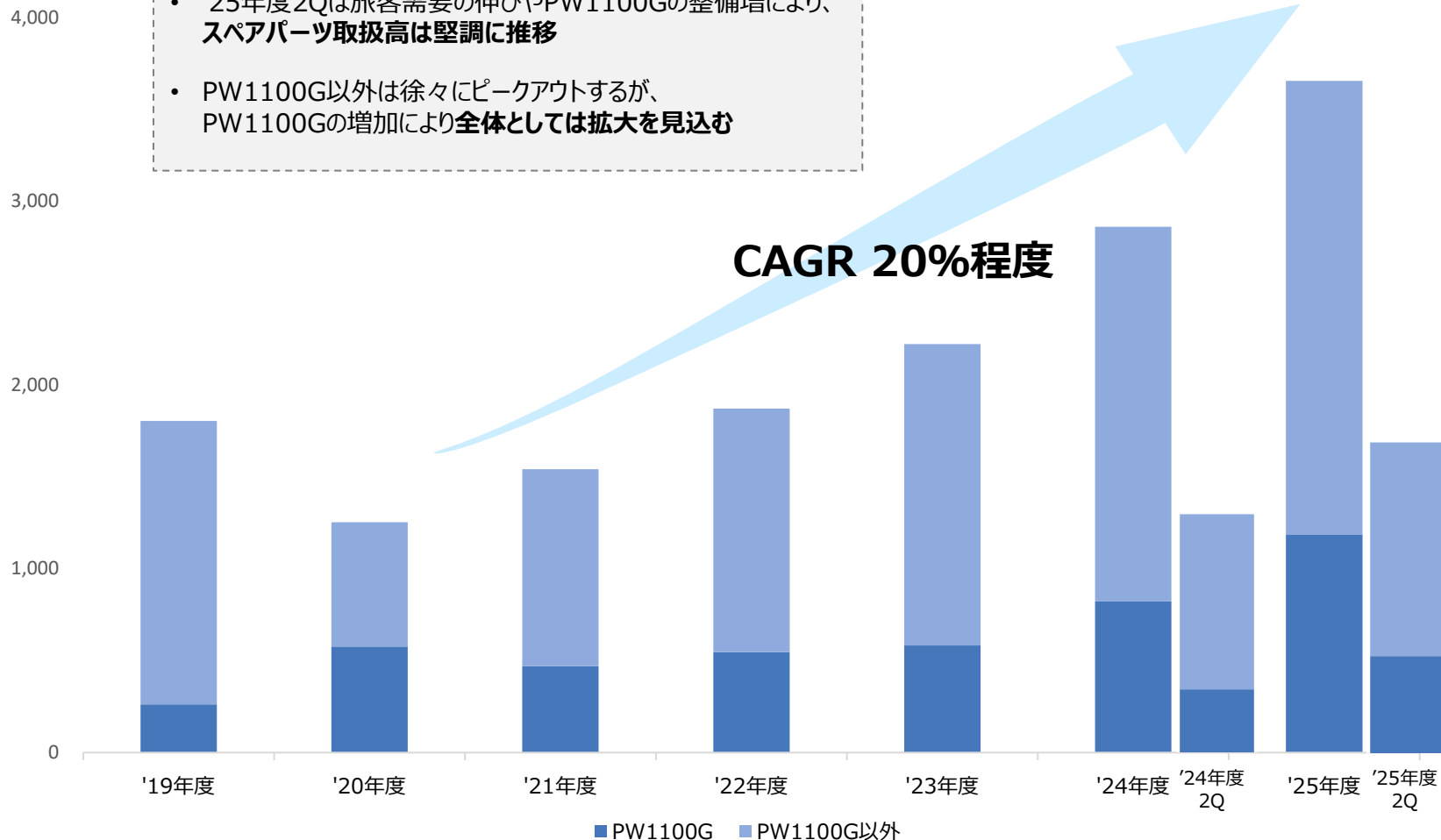
*1：会計基準に基づく売上収益（GAAPベース：Generally Accepted Accounting Principles）

*2：管理会計上用いている、スぺアパーツ関連費用控除前のグロス販売額

【参考】スเปアパーツ取扱高の推移

(単位 : M USD)

- '25年度2Qは旅客需要の伸びやPW1100Gの整備増により、スเปアパーツ取扱高は堅調に推移
- PW1100G以外は徐々にピークアウトするが、PW1100Gの増加により全体としては拡大を見込む



*1 : 管理会計上用いている、スเปアパーツ関連費用控除前のグロスベース販売額

2025年度第2四半期 連結決算 連結財政状態計算書

親会社所有者帰属持分比率は23.1%へと改善が進む
民間エンジン事業や防衛事業における増産対応により棚卸資産が増加するも、
年度末にかけて圧縮していく見通し、引き続きバランスシートマネジメントの徹底を図る

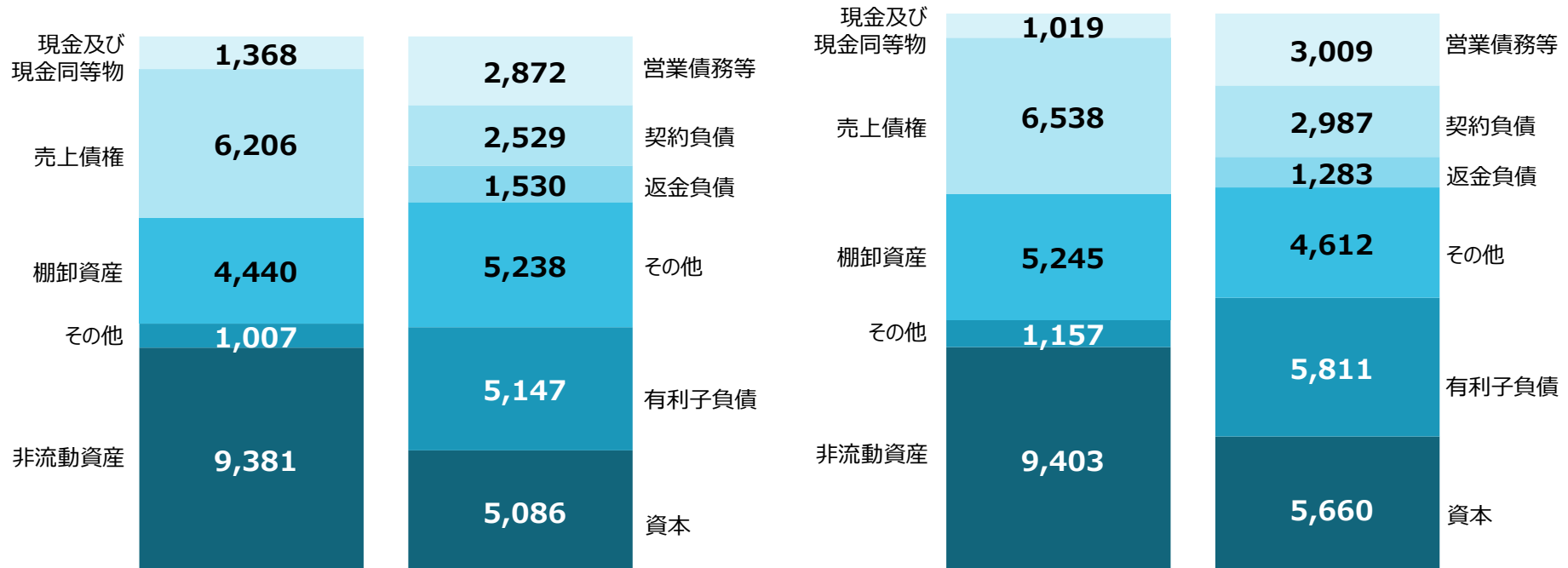
'24年度末

'25年度2Q末

資産合計 : 22,403億円
D/Eレシオ : 1.01倍
親会社所有者帰属持分比率 : 21.5%

資産合計 : 23,365億円 (+961億円)
D/Eレシオ : 1.03倍 (+0.02pt)
親会社所有者帰属持分比率 : 23.1% (+1.6pt)

(単位：億円)



2025年度第2四半期 連結決算 キャッシュ・フローの状況

第2四半期の営業CFは会社計画どおりの推移
 運転資本の改善があったものの、粉末冶金関連の支払や税金支出増等により悪化

(単位：億円)		'24年度2Q	'25年度2Q	増減
	税引前中間利益	626	747	+120
	減価償却費	350	367	+17
	その他	146	▲52	▲198
	EBITDA	1,123	1,062	▲60
	PW1100G-JMエンジン追加検査 プログラム関連支出（※1）	▲90	▲206	▲116
	運転資本増減（※2）	▲975	▲669	+305
	税金支出	▲51	▲494	▲442
	その他	▲80	▲263	▲183
	営業キャッシュ・フロー	▲74	▲571	▲496
	投資キャッシュ・フロー	▲252	▲229	+23
	フリーキャッシュ・フロー	▲327	▲801	▲473

（※1）PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連支出は、従来の運転資本の増減と区別して記載

（※2）運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示す
 運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

2025年度 連結業績見通し

2025年度 連結業績見通し 業績見通し

原子力や防衛事業での受注拡大を反映し、受注高を上方修正
民間エンジン事業が堅調に推移していること等を踏まえ、営業利益・当期利益を上方修正
受注高・売上収益・営業利益・当期利益のいずれも、過去最高を達成する見通し

(単位：億円)	'24年度	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回
受注高	17,511	17,900	18,500	+600
売上収益	16,268	16,500	16,400	▲100
営業利益（率）	(8.8%) 1,435	(9.1%) 1,500	(9.8%) 1,600	+100
税引前利益（率）	(8.5%) 1,384	(8.2%) 1,350	(8.8%) 1,450	+100
親会社所有者帰属当期利益（率）	(6.9%) 1,127	(7.3%) 1,200	(7.6%) 1,250	+50
EPS（※）	106.41円	112.85円	117.49円	+4.64円
EBITDA（率）	(13.3%) 2,156	(13.3%) 2,200	(14.0%) 2,300	+100
営業キャッシュ・フロー	1,776	1,000	1,000	-
前提為替レート（USD）	152.84	140.00	140.00	-

（参考）為替感応度（為替相場の1円変動による、3-4Qの営業利益への影響額）：USD 9 億円

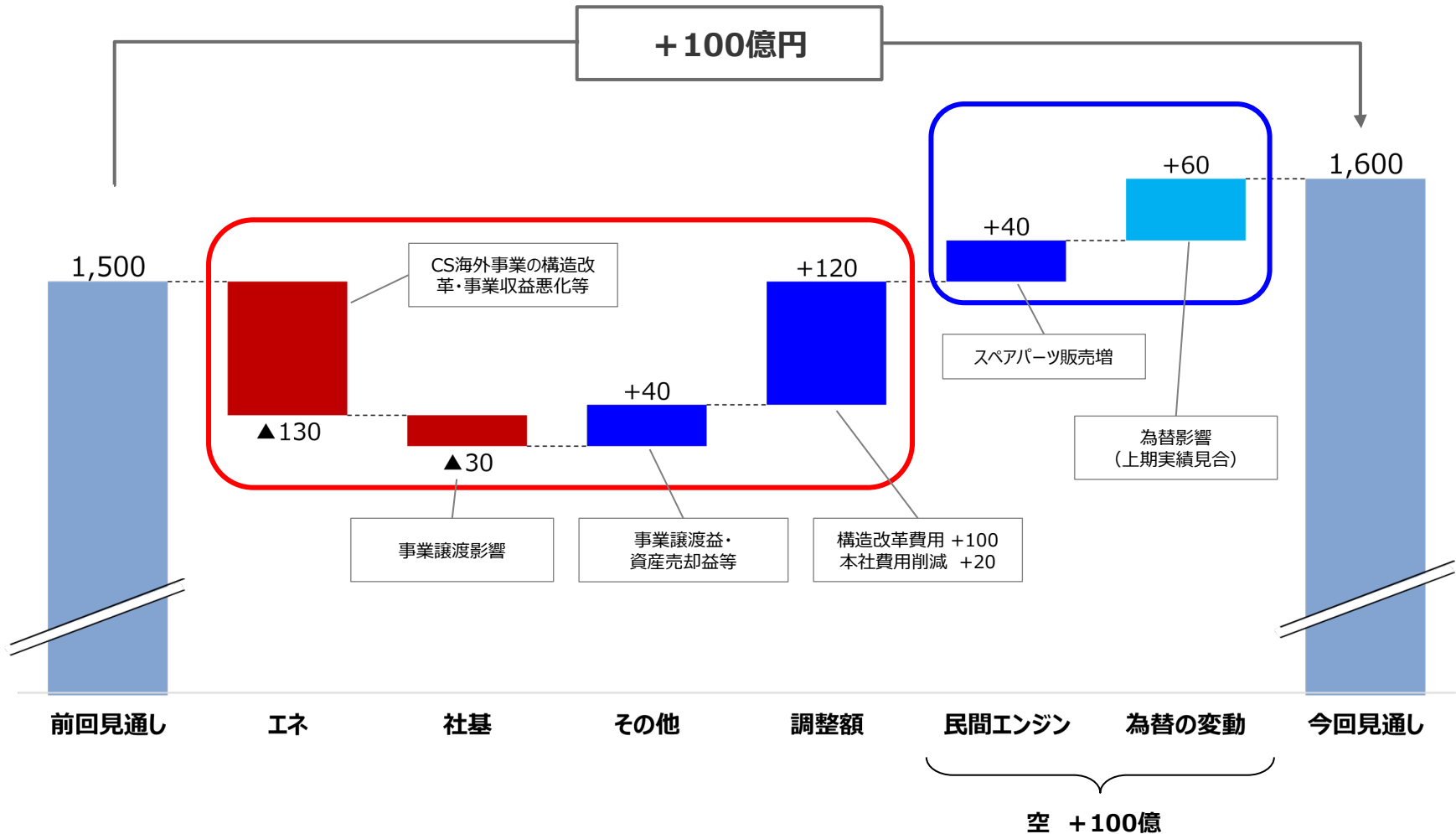
PW1100G-JMエンジン追加検査プログラムの為替影響は、'24年度末（149.45円/USD）の水準で変更なし（為替感応度は当該影響を除く）

（※）2025年10月の株式分割（7分割）から過去にわたり遡及修正したもの。小数点第3位で四捨五入

2025年度 連結業績見通し 営業利益増減要因（全社）

エネ(CS海外事業悪化)、社基(事業譲渡影響)で下方修正、本社費用の改善等や、
堅調に事業成長している空の上方修正を踏まえ、連結営業利益は100億円の上方修正

(単位：億円)



2025年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳

(単位：億円)	受注高			売上収益			営業利益		
	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回
資源・エネルギー・ 環境	4,700	5,000	+300	3,800	3,700	▲100	240 (6.3%)	110 (3.0%)	▲130 (▲3.3pt)
社会基盤	1,400	1,300	▲100	1,300	1,200	▲100	70 (5.4%)	40 (3.3%)	▲30 (▲2.1pt)
産業システム・ 汎用機械	4,500	4,500	-	4,400	4,400	-	400 (9.1%)	400 (9.1%)	- (-)
航空・宇宙・防衛	7,100	7,500	+400	6,800	6,900	+100	1,090 (16.0%)	1,190 (17.2%)	+100 (+1.2pt)
報告セグメント 合計	17,700	18,300	+600	16,300	16,200	▲100	1,800	1,740	▲60
その他	700	700		700	700	-	100	140	+40
調整額	▲500	▲500	-	▲500	▲500	-	▲400	▲280	+120
合計	17,900	18,500	+600	16,500	16,400	▲100	1,500 (9.1%)	1,600 (9.8%)	+100 (+0.7pt)

Appendix

報告セグメント別内訳（2024年度2Q vs 2025年度2Q）

(単位：億円)	受注高			受注残高			売上収益			営業利益（率）		
	'24年度2Q	'25年度2Q	増減	'24年度末	'25年度2Q末	増減	'24年度2Q	'25年度2Q	増減	'24年度2Q	'25年度2Q	増減
資源・エネルギー・環境	1,415	3,261	+1,846	4,376	6,107	+1,730	2,100	1,591	▲508	78 (3.7%)	▲1 (▲0.1%)	▲79 (▲3.8pt)
社会基盤	634	591	▲42	2,170	2,158	▲11	590	592	+2	▲48 (▲8.2%)	▲33 (▲5.6%)	+15 (+2.6pt)
産業システム・汎用機械	2,424	2,234	▲189	2,061	2,170	+108	2,273	2,094	▲179	▲10 (▲0.5%)	170 (8.1%)	+180 (+8.6pt)
航空・宇宙・防衛	3,028	2,703	▲325	6,059	6,077	+18	2,476	2,739	+262	766 (30.9%)	547 (20.0%)	▲219 (▲10.9pt)
報告セグメント合計	7,503	8,791	+1,288	14,667	16,513	+1,846	7,440	7,017	▲422	785	683	▲102
その他	345	408	+62	206	230	+24	321	366	+45	27	68	+41
調整額	▲246	▲264	▲18	-	-	-	▲186	▲248	▲61	▲40	▲57	▲16
合計	7,602	8,934	+1,332	14,873	16,743	+1,870	7,574	7,136	▲438	772 (10.2%)	694 (9.7%)	▲78 (▲0.5pt)
海外	3,770	4,560	+790	2,891	3,512	+621	4,532	3,962	▲570			
海外比率	50%	51%	+1pt	19%	21%	+2pt	60%	56%	▲4pt			

（注）都市開発の報告セグメントを「社会基盤」から「その他」へ変更したことにより、実績を組み替えて表示している

報告セグメント別営業利益増減要因（2024年度2Q vs 2025年度2Q）

（単位：億円）	事業環境の 変化	LCBの 拡大	コスト構造の 強化	為替の 変動	販管費の 変動	事業構造 改革	その他	合計
資源・エネルギー・環境	▲6		▲84		+7		+4	▲79
社会基盤	+5		+32		▲6	▲16		+15
産業システム・汎用機械	▲21	+14	+38		▲2	+40	+111	+180
航空・宇宙・防衛	+5			▲64	▲85			▲219
PW1100G-JMエンジン 追加検査プログラム為替影響				▲75				
報告セグメント合計	▲17	+14	▲14	▲139	▲86	+24	+115	▲102
その他	+6				▲4		+39	+41
調整額					▲16			▲16
合計	▲11	+14	▲14	▲139	▲106	+24	+154	▲78

（注）

- ・ 報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。販管費の変動とその他の損益の増減では為替の変動等を除外
- ・ 都市開発の報告セグメントを「社会基盤」から「その他」へ変更したことにより、実績を組み替えて表示している

報告セグメント別内訳（前回見通し vs 今回見通し）

(単位：億円)	受注高				売上収益				営業利益			
	'24年度	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回	'24年度	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回	'24年度	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回
資源・エネルギー・環境	3,703	4,700	5,000	+300	4,114	3,800	3,700	▲100	161 (3.9%)	240 (6.3%)	110 (3.0%)	▲130 (▲3.3pt)
社会基盤	1,504	1,400	1,300	▲100	1,460	1,300	1,200	▲100	▲42 (▲2.9%)	70 (5.4%)	40 (3.3%)	▲30 (▲2.1pt)
産業システム・汎用機械	4,844	4,500	4,500	-	4,848	4,400	4,400	-	108 (2.2%)	400 (9.1%)	400 (9.1%)	- (-)
航空・宇宙・防衛	7,199	7,100	7,500	+400	5,557	6,800	6,900	+100	1,227 (22.1%)	1,090 (16.0%)	1,190 (17.2%)	+100 (+1.2pt)
報告セグメント合計	17,251	17,700	18,300	+600	15,980	16,300	16,200	▲100	1,454	1,800	1,740	▲60
その他	755	700	700	-	772	700	700	-	168	100	140	+40
調整額	▲495	▲500	▲500	-	▲484	▲500	▲500	-	▲187	▲400	▲280	+120
合計	17,511	17,900	18,500	+600	16,268	16,500	16,400	▲100	1,435 (8.8%)	1,500 (9.1%)	1,600 (9.8%)	+100 (+0.7pt)

(注) 都市開発の報告セグメントを「社会基盤」から「その他」へ変更したことにより、実績を組み替えて表示している

報告セグメント別営業利益増減要因（前回見通し vs 今回見通し）

（単位：億円）	事業環境の 変化	LCBの 拡大	コスト構造の 強化	為替の 変動	販管費の 変動	事業構造 改革	その他	合計
資源・エネルギー・環境	+30		▲110			▲50		▲130
社会基盤						▲30		▲30
産業システム・汎用機械								-
航空・宇宙・防衛	+40			+60				+100
報告セグメント合計	+70	-	▲110	+60	-	▲80	-	▲60
その他							+40	+40
調整額					+20	+100		+120
合計	+70	-	▲110	+60	+20	+20	+40	+100

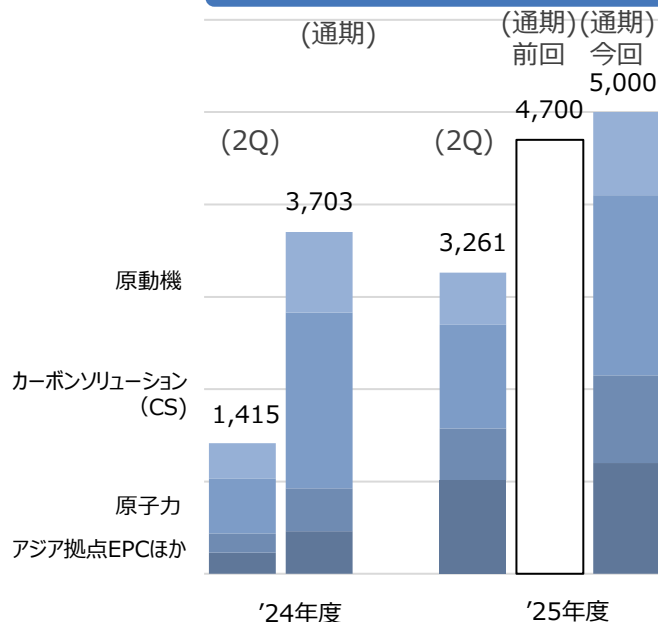
（注）

- ・ 報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。販管費の変動とその他の損益の増減では為替の変動等を除外

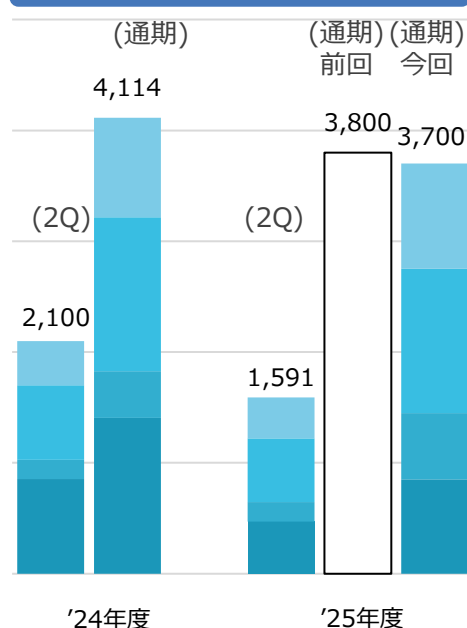
報告セグメント別決算実績・見通し <資源・エネルギー・環境>

(単位：億円)

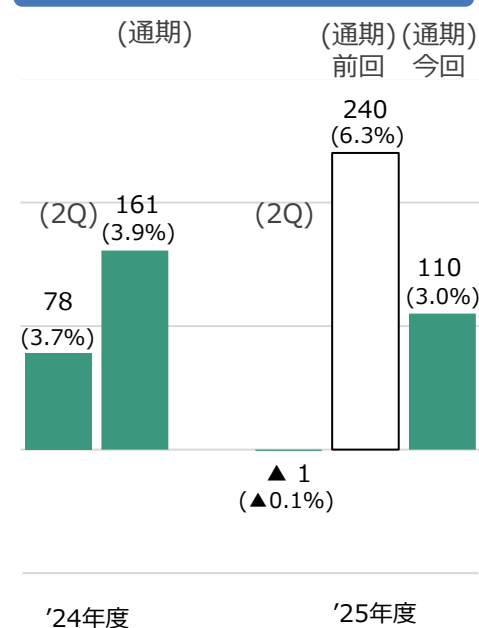
受注高



売上収益



営業利益



	受注高			
	'24/2Q	'24通期	'25/2Q	'25通期
原動機	381	874	564	900
カーボンソリューション	595	1,904	1,122	1,950
原子力	210	464	558	950
アジア拠点EPCほか	229	461	1,017	1,200
合計	1,415	3,703	3,261	5,000

	売上収益			
	'24/2Q	'24通期	'25/2Q	'25通期
原動機	401	897	371	950
カーボンソリューション	671	1,391	575	1,300
原子力	174	419	174	600
アジア拠点EPCほか	854	1,407	471	850
合計	2,100	4,114	1,591	3,700

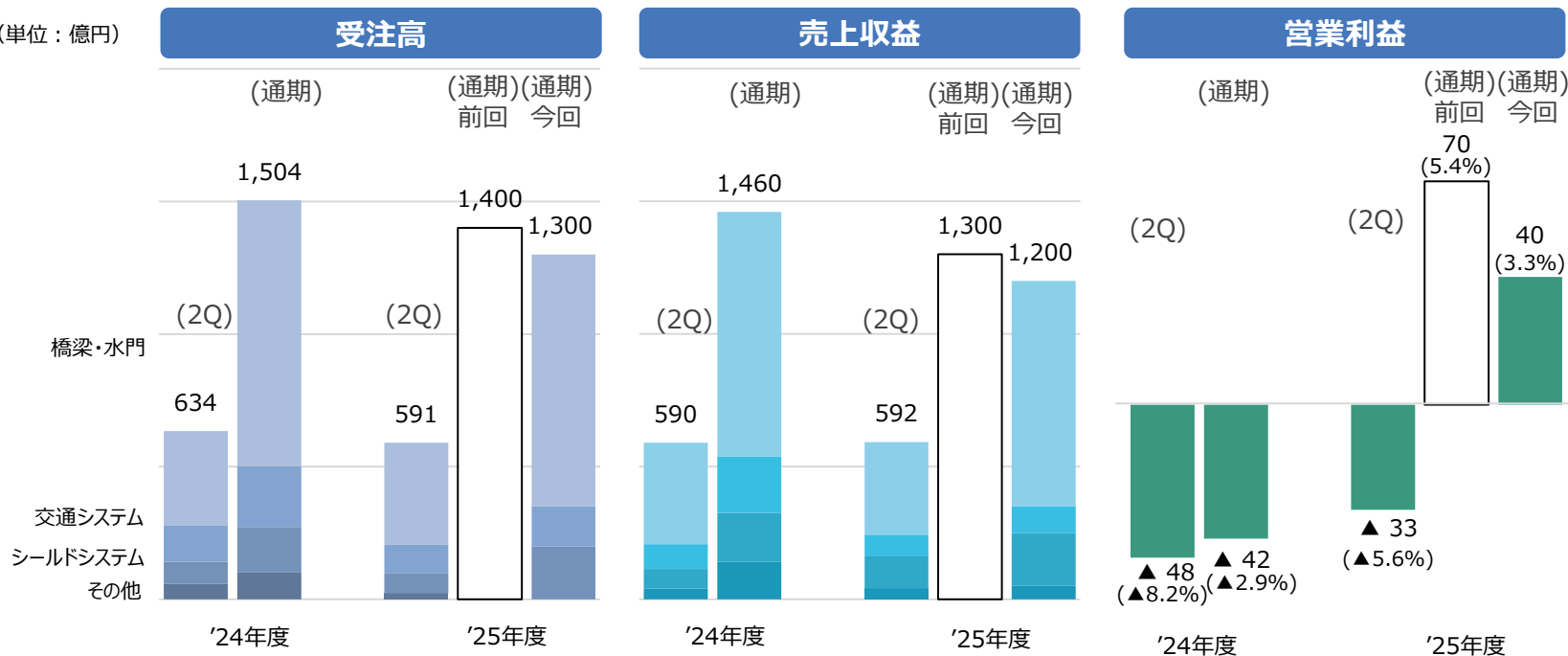
補足説明

通期見通し

- 受注高：事業拡大により原子力(+250)、原動機(+50)で増加
- 売上収益：CS(▲100)、アジアEPC(▲100)で受注遅れ等により減収、原子力(+100)は増収
- 営業利益：CSでの海外事業の悪化、および構造改革費用を織り込み

報告セグメント別決算実績・見通し <社会基盤>

(単位：億円)



	受注高				売上収益			
	'24/2Q	'24通期	'25/2Q	'25通期	'24/2Q	'24通期	'25/2Q	'25通期
橋梁・水門	354	1,001	385	950	382	922	349	850
交通システム	138	230	106	150	94	213	82	100
シールドシステム	84	170	78	170	74	184	121	200
その他	58	103	22	30	40	141	40	50
合計	634	1,504	591	1,300	590	1,460	592	1,200

補足説明
通期見通し 交通システムの事業譲渡による影響により受注高・売上・営業利益を下方修正

(注) 都市開発の報告セグメントを「社会基盤」から「その他」へ変更したことにより、実績を組み替えて表示している

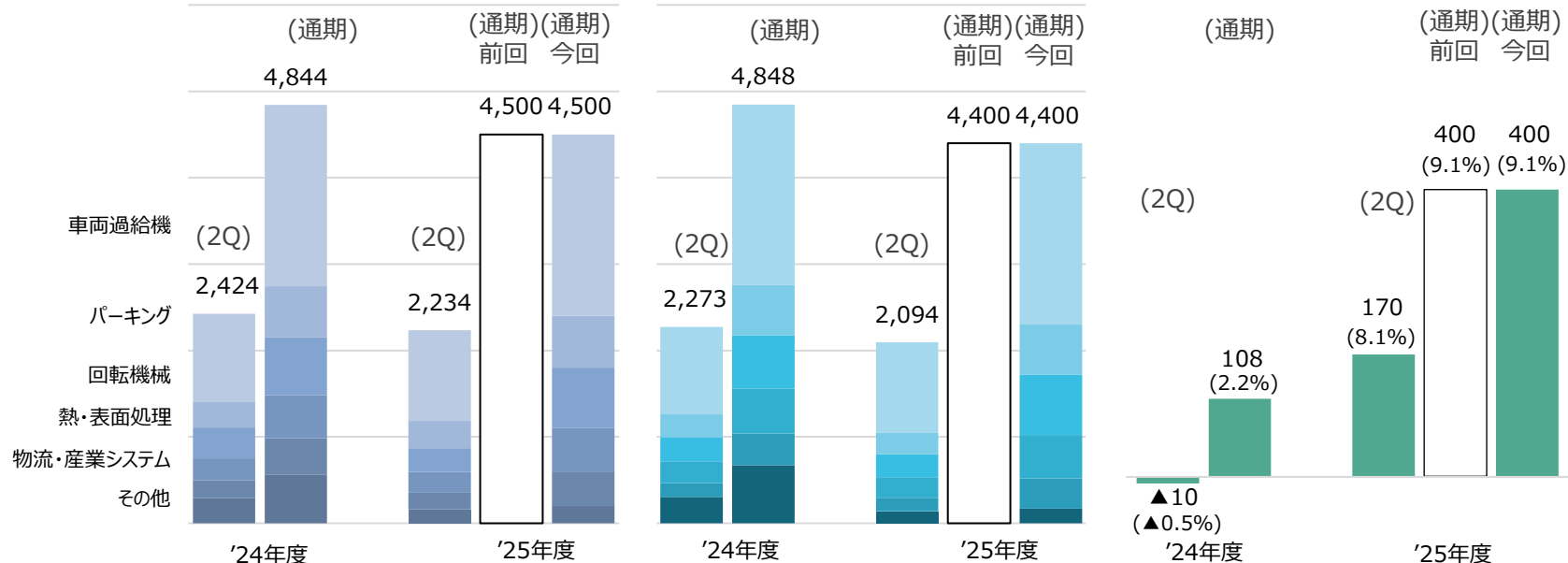
報告セグメント別決算実績・見通し <産業システム・汎用機械>

(単位：億円)

受注高

売上収益

営業利益



	受注高			
	'24/2Q	'24通期	'25/2Q	'25通期
車両過給機	1,015	2,102	1,049	2,100
パーキング	300	592	316	600
回転機械	359	668	274	700
熱・表面処理	252	498	241	500
物流・産業システム	208	419	194	400
その他	290	565	160	200
合計	2,424	4,844	2,234	4,500

	売上収益			
	'24/2Q	'24通期	'25/2Q	'25通期
車両過給機	1,014	2,086	1,049	2,100
パーキング	269	587	246	580
回転機械	275	616	266	700
熱・表面処理	252	521	240	500
物流・産業システム	160	367	156	350
その他	303	671	137	170
合計	2,273	4,848	2,094	4,400

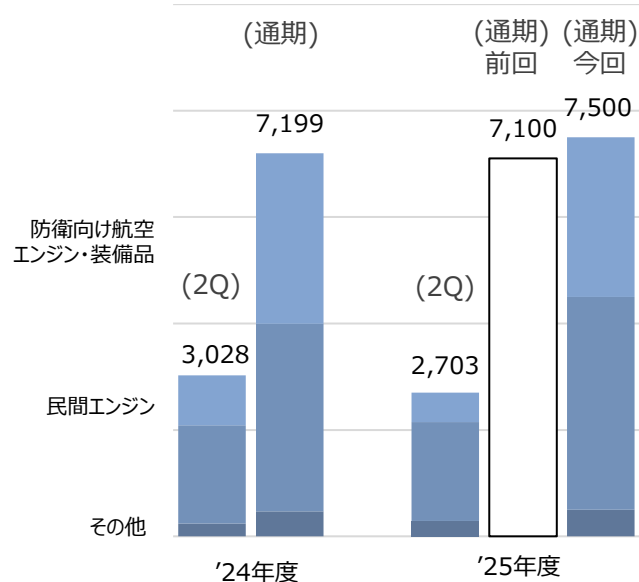
補足説明

- 7月1日の運搬機械事業の譲渡完了に伴い、譲渡益を計上
- 受注高・売上収益・営業利益ともに見通しは据え置き

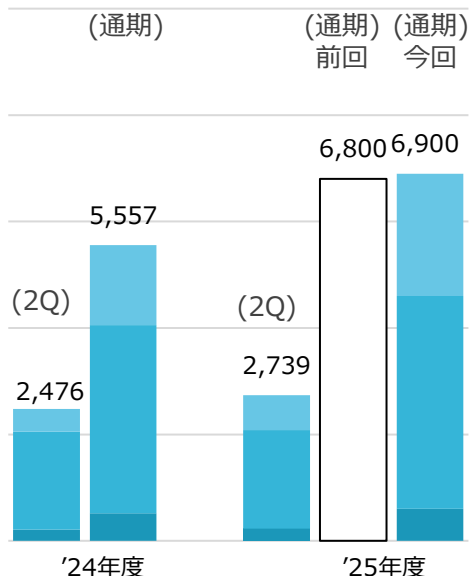
報告セグメント別決算実績・見通し <航空・宇宙・防衛>

(単位：億円)

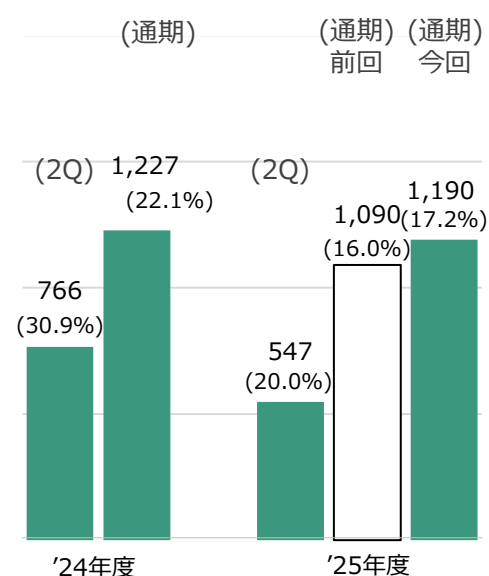
受注高



売上収益



営業利益



	受注高			
	'24/2Q	'24通期	'25/2Q	'25通期
防衛向け航空エンジン・装備品	941	3,205	553	3,000
民間エンジン	1,843	3,524	1,859	4,000
その他	244	470	291	500
合計	3,028	7,199	2,703	7,500

	売上収益			
	'24/2Q	'24通期	'25/2Q	'25通期
防衛向け航空エンジン・装備品	422	1,502	657	2,300
民間エンジン	1,843	3,516	1,851	4,000
その他	211	539	231	600
合計	2,476	5,557	2,739	6,900

補足説明

通期見通し

- 受注高：事業拡大により防衛(+200)で増加。足元の実績等を踏まえ、民間エンジン(+100)、その他(宇宙等)(+100)でも増加
- 売上収益・営業利益：民間エンジン事業は足元の好調なスベアパーツ販売実績を踏まえ、増収増益を見込む
- 明星電気は2026年2月2日に、事業譲渡が完了し、連結除外となる予定

【参考】航空・宇宙・防衛セグメント営業利益四半期推移（為替影響・一時的要因を除外）

✓ 為替影響等を除外すると、当期のセグメント営業利益は前期と同水準を維持

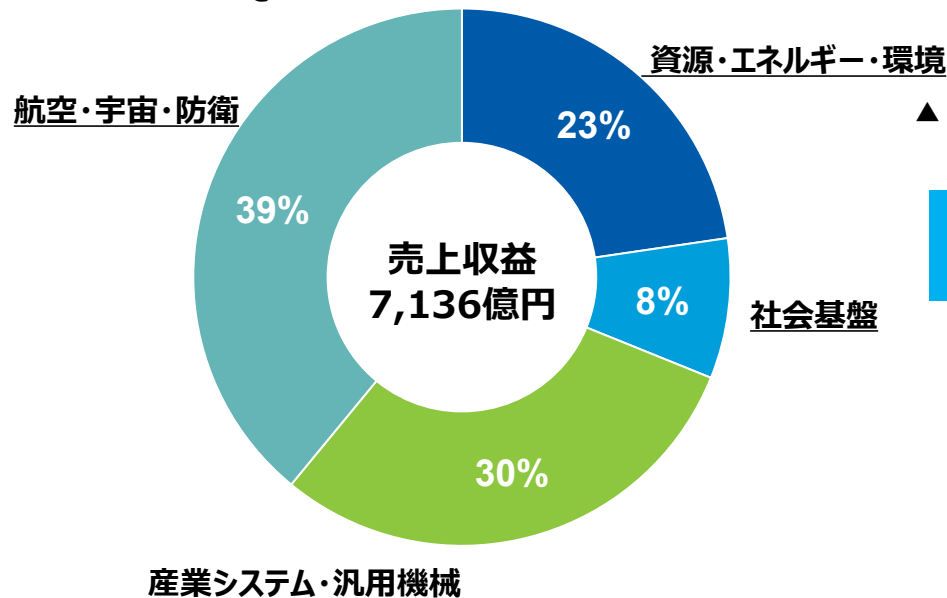
(単位：億円)		'24年度 1Q	'24年度 2Q	'24年度 3Q	'24年度 4Q	'25年度 1Q	'25年度 2Q	'25年度 3-4Q平均	'23年度 四半期 平均	'24年度 四半期 平均	'25年度 四半期 平均
空 セグメント営業利益		238	527	180	281	279	267	321	142	306	297
調 整 項 目	為替影響①	▲ 79	▲ 43	▲ 47	▲ 60	▲ 25	▲ 33		▲ 23	▲ 57	▲ 14
	為替影響②	98	▲ 181	143	▲ 69	▲ 36	28			▲ 2	▲ 2
	米エアライン貸倒引当金			70						18	
調整後 空セグメント営業利益 (為替140円ベース)		257	303	346	152	218	262	321	119	265	281

(調整項目)

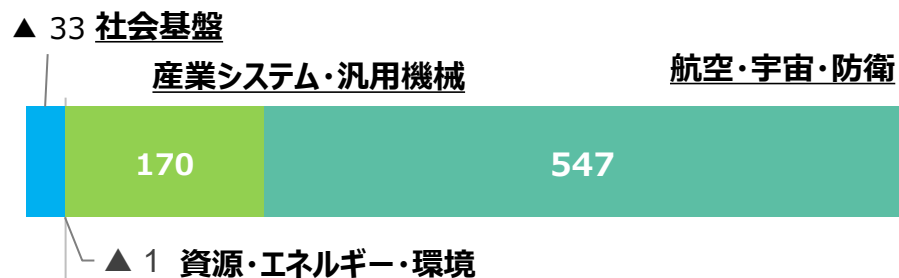
- ・ 為替影響①：売上平均レートを140円/USDベースに修正
- ・ 為替影響②：PW1100G-JMエンジン追加検査プログラムの為替影響を除外

民間エンジンのアフターマーケット事業の成長に伴い、営業利益は堅調に拡大

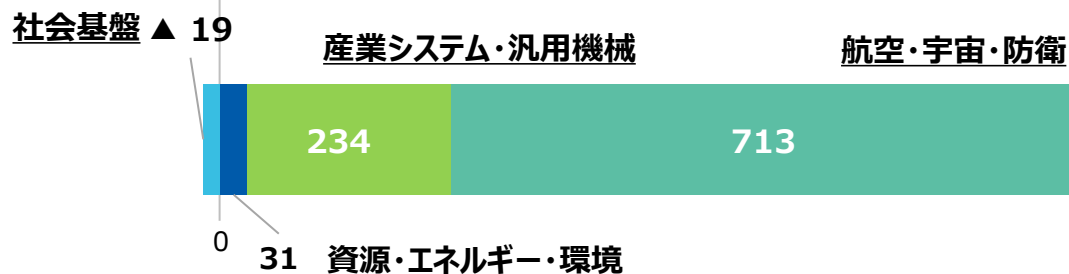
'25年度2Q 売上収益



'25年度2Q 営業利益 694億円



'25年度2Q EBITDA 1,062億円

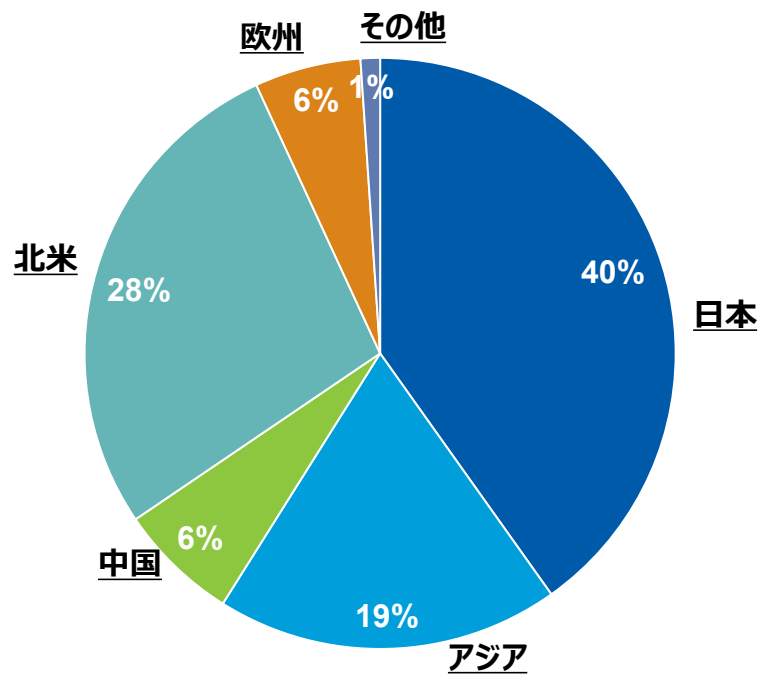


(注) 2025年度の組織再編を受けて、都市開発は過去に遡って「社会基盤」から「その他」に付け替えている

(注) 円グラフの比率 (%) は、報告セグメント合計に対する構成比率を示す

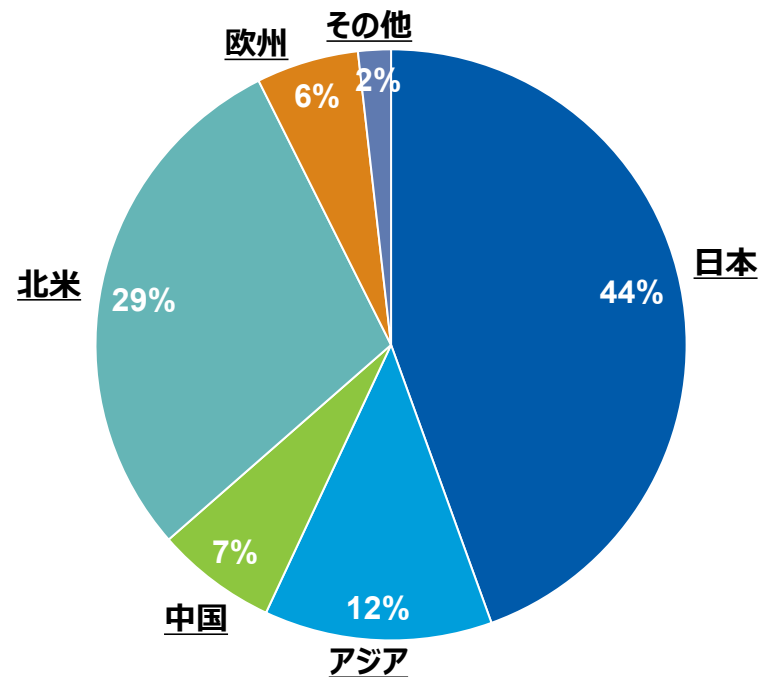
(注) セグメント別EBITDA
=各セグメント営業利益+各セグメント減価償却費

'24年度2Q



海外売上収益 4,532億円

'25年度2Q

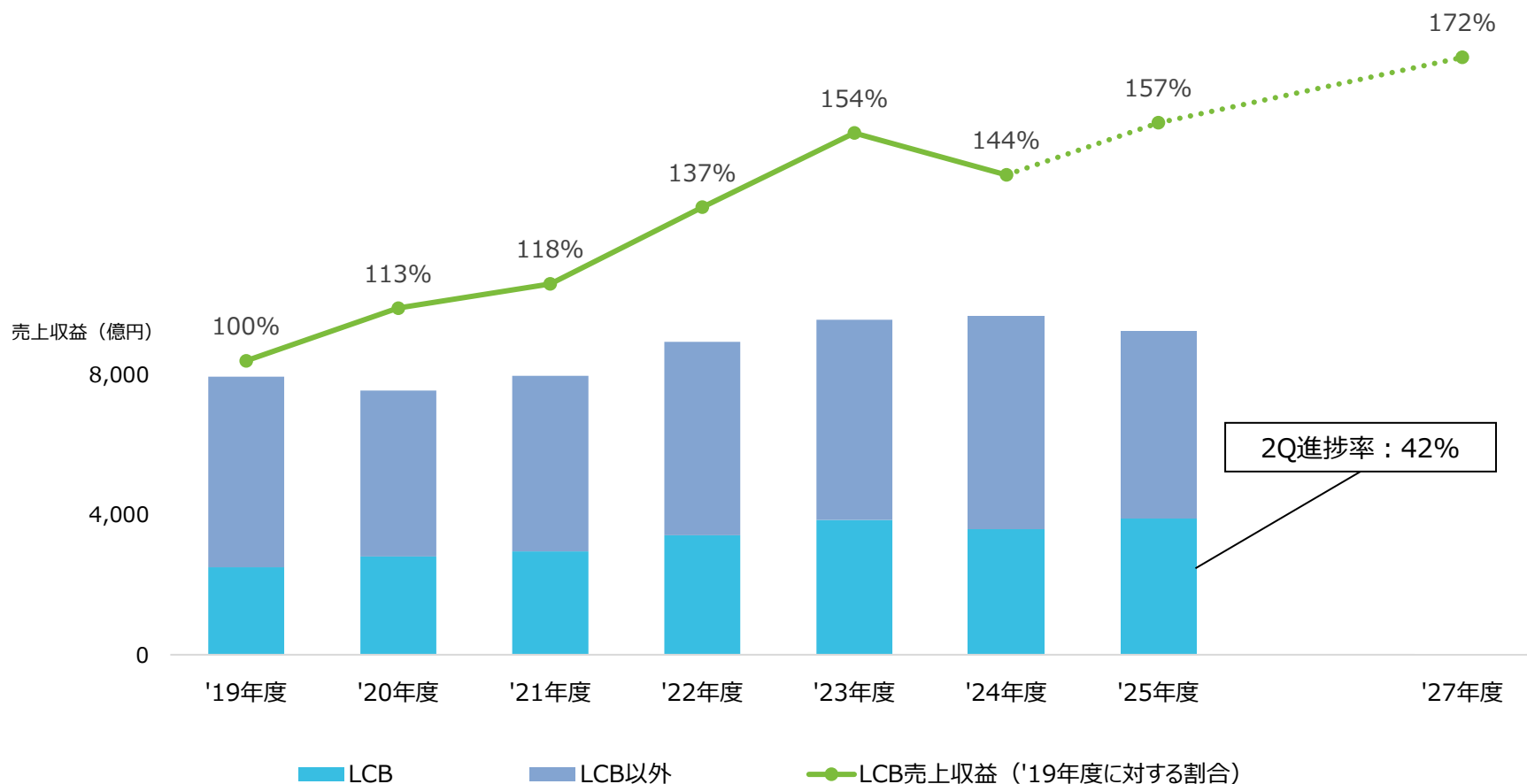


海外売上収益 3,962億円

中核事業におけるライフサイクルビジネス（LCB）の状況

（注１）中核事業：エネ・社基・産汎

（注２）事業譲渡・セグメント変更による影響のあるコンクリート建材、運搬機械、交通および都市開発は過去実績から除いている



年度末に売上が集中する傾向あり。2Qまで想定どおりの順調な推移

(単位：億円)	'24年度末	'25年度2Q末	増減
資産合計	22,403	23,365	+961
うち現金及び現金同等物	1,368	1,019	▲348
うち営業債権，契約資産	6,206	6,538	+332
うち棚卸資産	4,440	5,245	+805
負債合計	17,317	17,704	+387
うち営業債務等	2,872	3,009	+137
うち契約負債	2,529	2,987	+457
うち返金負債	1,530	1,283	▲246
うち有利子負債	5,147	5,811	+664
社債および借入金	3,893	4,625	+731
リース負債	1,253	1,186	▲66
資本合計	5,086	5,660	+574
親会社の所有者に帰属する持分	4,817	5,406	+589
非支配持分	269	254	▲14
負債及び資本合計	22,403	23,365	+961

キャッシュ・フロー、研究開発、設備投資の状況（2024年度2Q vs 2025年度2Q）

(単位：億円)		'24年度2Q	'25年度2Q	増減
	税引前中間利益	626	747	+120
	減価償却費	350	367	+17
	その他	146	▲52	▲198
	EBITDA	1,123	1,062	▲60
	PW1100G-JMエンジン追加検査 プログラム関連支出（※1）	▲90	▲206	▲116
	運転資本増減（※2）	▲975	▲669	+305
	税金支出	▲51	▲494	▲442
	その他	▲80	▲263	▲183
	営業キャッシュ・フロー	▲74	▲571	▲496
	投資キャッシュ・フロー	▲252	▲229	+23
	フリーキャッシュ・フロー	▲327	▲801	▲473

（※1）PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連支出は、従来の運転資本の増減と区別して記載

（※2）運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示す

運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

(単位：億円)		'24年度2Q	'25年度2Q	増減
	研究開発費	141	156	+14
	設備投資額	297	402	+104
	減価償却費	350	367	+17

キャッシュ・フロー、研究開発、設備投資の状況（前回見通し vs 今回見通し）

(単位：億円)		'24年度	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回
	税引前利益	1,384	1,350	1,450	+100
	減価償却費	721	700	700	-
	その他	50	150	150	-
	EBITDA	2,156	2,200	2,300	+100
	PW1100G-JMエンジン追加検査 プログラム関連支出（※1）	▲393	▲450	▲450	-
	運転資本増減（※2）	▲12	▲430	▲430	-
	その他	24	▲320	▲420	▲100
	営業キャッシュ・フロー	1,776	1,000	1,000	-
	投資キャッシュ・フロー	▲588	▲900	▲900	-
	フリーキャッシュ・フロー	1,188	100	100	-

（※1）PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム関連支出は、従来の運転資本の増減と区別して記載

（※2）運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示す

運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

(単位：億円)		'24年度	'25年度 前回見通し	'25年度 今回見通し	増減 今回-前回
	研究開発費	340	450	450	-
	設備投資額	974	1,100	1,100	-
	減価償却費	721	700	700	-

主要な経営指標の推移

	IFRS								IFRS
	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度	'24年度	'25年度2Q	'25年度 (見通し)	'25年度 (前回見通し)
受注高	12,800億円	10,970億円	12,612億円	13,661億円	13,768億円	17,511億円	8,934億円	18,500億円	17,900億円
売上収益	12,631億円	11,129億円	11,729億円	13,529億円	13,225億円	16,268億円	7,136億円	16,400億円	16,500億円
営業利益	478億円	279億円	814億円	819億円	▲ 701億円	1,435億円	694億円	1,600億円	1,500億円
親会社所有者帰属 当期利益	82億円	130億円	660億円	445億円	▲ 682億円	1,127億円	559億円	1,250億円	1,200億円
EPS (※1)	7.70円	12.59円	62.82円	42.07円	▲ 64.40円	106.41円	52.76円	117.49円	112.85円
EBITDA	954億円	923億円	911億円	1,511億円	(※2) 1,750億円	2,156億円	1,062億円	2,300億円	2,200億円
営業CF	424億円	363億円	1,141億円	541億円	621億円	1,776億円	▲ 571億円	1,000億円	1,000億円
投資CF	▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 523億円	▲ 516億円	▲ 588億円	▲ 229億円	▲ 900億円	▲ 900億円
FCF	▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	17億円	104億円	1,188億円	▲ 801億円	100億円	100億円
配当 (※1) (中間/期末)	7.14円/株 (4.29円/2.86円)	0円/株	10.00円/株 (4.29円/5.71円)	12.86円/株 (5.71円/7.14円)	14.29円/株 (7.14円/7.14円)	17.14円/株 (7.14円/10.00円)	-	20.00円/株 (10.00円/ 10.00円)	20.00円/株 (10.00円/ 10.00円)
営業利益率	3.8%	2.5%	6.9%	6.1%	▲5.3%	8.8%	9.7%	9.8%	9.1%
ROIC	4.1%	2.2%	6.4%	6.3%	▲4.9%	10.5%	-	10.6%	9.9%
ROE	2.8%	4.5%	19.3%	11.0%	▲16.9%	26.3%	-	23.8%	23.0%
CCC	92日	124日	112日	120日	(※2) 132日	(※2) 115日	-	-	(※2) 123日
D/Eレシオ	2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.14倍	1.43倍	1.01倍	1.03倍	0.97倍	0.98倍
親会社所有者帰属 持分比率	15.0%	16.4%	20.3%	22.2%	17.9%	21.5%	23.1%	24.5%	24.4%

ROIC：（営業利益＋受取利息・配当金）税引後／（親会社の所有者に帰属する持分＋有利子負債）

ROE：親会社所有者帰属当期利益／親会社の所有者に帰属する持分

CCC：運転資本／売上収益×365日

D/Eレシオ：有利子負債／資本合計

親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／負債・資本合計

(※1) 2025年10月の株式分割（7分割）から過去にわたり遡及修正したもの
小数点第3位で四捨五入

(※2) PW1100G-JMエンジン追加検査プログラム、IHI E&C訴訟和解影響に関する損失計上を除く

民間エンジン事業 売上収益・機種別累計販売台数推移

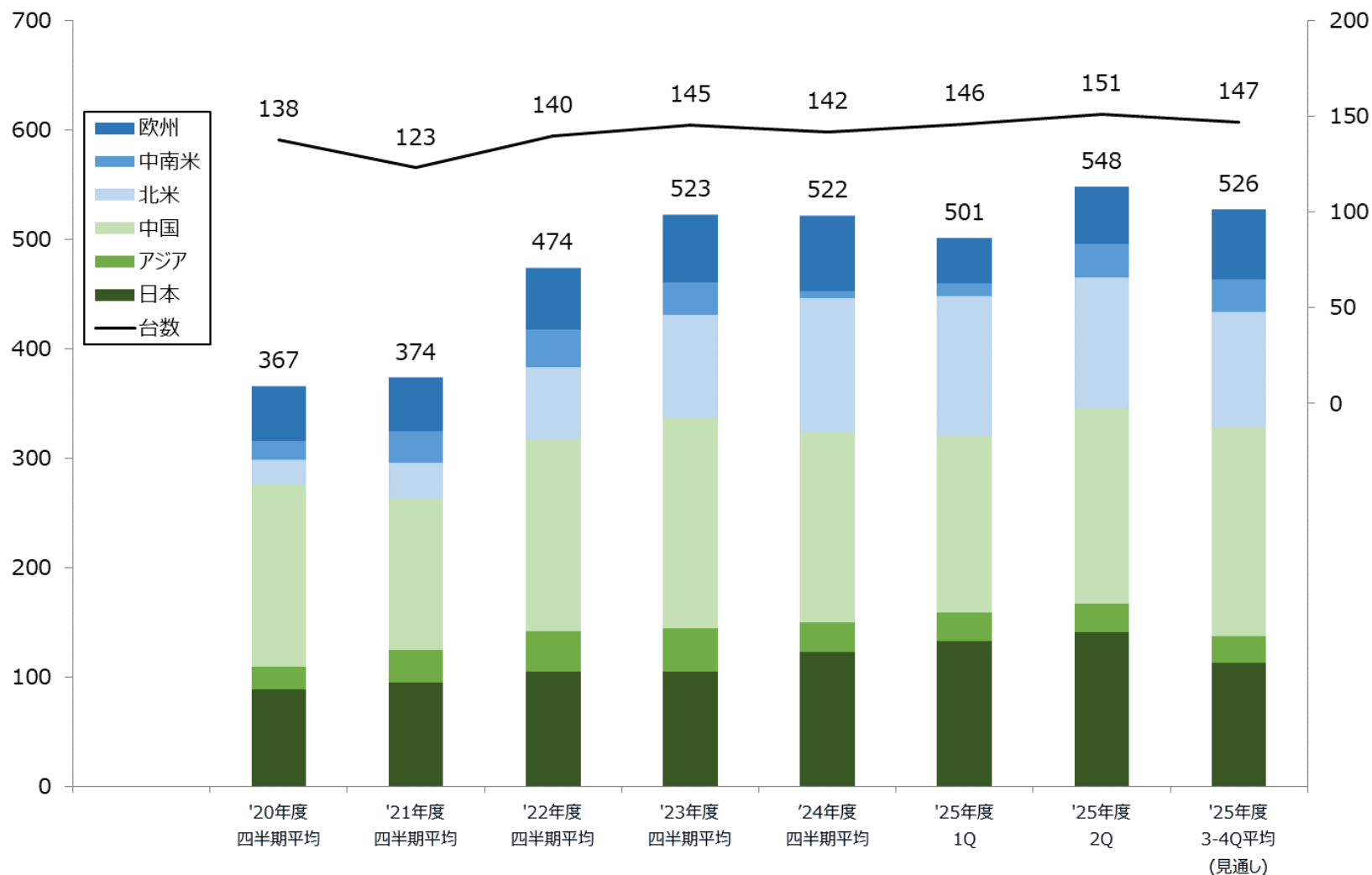
	日本基準				IFRS								主要搭載機
	’15	’16	’17	’18	’19	’20	’21	’22	’23	’24	’25		
											2Q累計	見通し	
売上収益（億円）	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	1,233	2,014	970	3,516	1,851	4,000	
累計販売台数（台）													
V2500	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,756	7,776	7,782	7,801	7,808		エアバス A319/320/321
GE90	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,925	2,968	3,029	3,085	3,116		ボーイング B777
CF34	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,926	6,085	6,201	6,321	6,380		リージョナルジェット （70～110席級）
GE9x	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,425	2,494	2,577	2,657	2,717		ボーイング B787/B747-8
PW1100G	16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,585	3,146	3,821	4,502	4,823		エアバス A320neo
Passport20			13	66	142	202	269	335	406	480	513		ボンバルディア Global7500
GE9X											3		ボーイング B777X
合計	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,886	22,804	23,816	24,846	25,360	26,149	
単年度販売台数（台）	1,260	1,282	1,206	1,521	1,571	842	789	918	1,012	1,030	514	1,303	

(単位：億円)	日本基準				IFRS							
	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	
											2Q累計	見通し
日本	346	389	398	446	391	354	380	418	421	491	274	500
アジア	216	158	117	110	107	85	118	149	158	109	52	100
中国	249	485	719	631	572	665	554	702	766	694	339	720
北米	24	33	84	116	108	90	131	264	378	492	248	460
中南米	34	61	74	75	66	69	115	138	121	23	43	100
欧州	743	617	811	513	289	199	195	223	245	275	93	220
その他	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	0	0
合計	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	1,895	2,090	2,086	1,049	2,100
販売台数（万台）	536	610	790	676	600	551	492	559	581	567	297	590

車両過給機 地域別売上収益・販売台数推移

売上収益（億円）

台数（万台）



(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(単位：億円)	日本基準				IFRS							
	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	
											2Q累計	見通し
賃貸収入	101	93	92	93	94	123	121	122	120	122	62	126

(2) 豊洲地区 賃貸収入、賃貸費用実績

(単位：億円)	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'25年度2Q	62	22	22	+17

(3) 豊洲地区投資不動産の期末公正価値等

(単位：億円)	連結財政状態計算書計上額			期末公正価値	期末公正価値 － 期末残高
	期首残高	期中増減額	期末残高		
'24年度	973	▲ 44	929	2,226	1,296

(注) 前年末の金額を表示

事業構造改革を断行し、収益性・効率性の徹底的な向上を図る

公表日	事業	概要
2023年度	車両過給機事業	海外連結子会社IHI Charging Systems International GmbH（以下、ICSI）固定資産の減損等構造改革
2024.9.26	車両過給機事業	ICSIの解散に向けた方針決議
2024.10.28	汎用ボイラ事業	- 株式会社タクマへの株式会社IHI汎用ボイラ（IBK）株式の譲渡を決議 2025年4月1日にIBK株式100%を譲渡完了
2024.11.6	運搬システム事業	- 株式会社タダノへのIHI運搬機械株式会社（IUK）運搬システム事業の譲渡を決議 2025年7月1日に譲渡完了
2024.11.25	芝草・芝生管理機器事業	- 株式会社共栄社への株式会社IHIアグリテック(IAT)芝草・芝生管理機器事業の譲渡を決議 2025年6月1日に譲渡完了
2025.3.27	コンクリート建材事業	- 株式会社ベルテクスコーポレーションへの株式会社IHI建材工業（IKK）株式の譲渡を決議 2025年10月1日にIKK株式100%を譲渡完了
2025.6.26	持分法投資	- 今治造船株式会社へのジャパン マリンユナイテッド株式会社（JMU）株式の一部譲渡を合意 - 国内外の関係当局への届け出および承認後にJMU株式15%を譲渡予定
2025.8.6	交通システム事業	- 株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ グループへの新潟トランス株式会社（NTS）株式の譲渡を決議 2025年12月30日にNTS株式100%を譲渡予定
2025.8.6	気象・防災・宇宙事業	- 能美防災株式会社への明星電気株式会社（MEISEI）株式の譲渡を決議 2026年2月2日にMEISEI株式100%を譲渡予定

- ✓ 当社グループがこれまでに公表した事業ポートフォリオ改革が、2023年度末までに完了していたと仮定した場合の2024年度業績を「FY2024 Proforma」として以下に示す

	FY2024 公表実績値	FY2024 Proforma	差異
売上収益	1兆6,268億円	1兆5,320億円	▲948億円
営業利益率	8.8%	9.7%	+ 1pt
ROIC	10.5%	11.5%	+ 1pt



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。